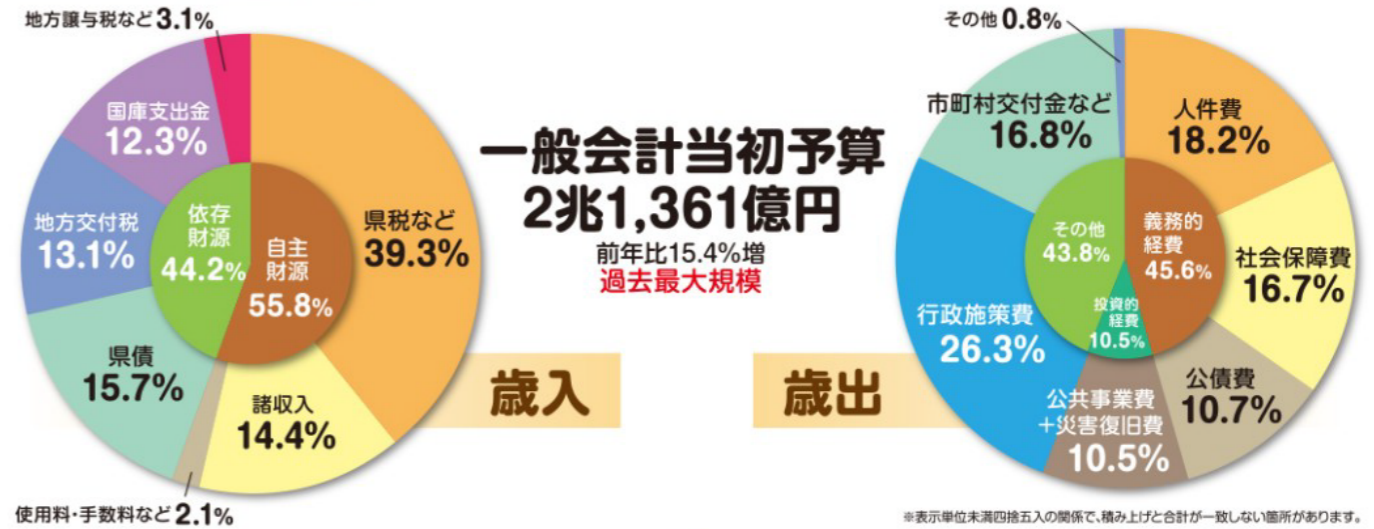


県政ナビ



2021年2月定例会は2月22日～3月24日までの31日間の会期で開催されました。開会日に、肺腺がんの治療に専念するため小川洋知事(当時)より辞任する旨が表明されました。これを受け、服部副知事(当時)が知事職務代理者となり議会運営が行われました。会期を通じて総計70議案が提案されすべて可決されました。コロナ対策を含め福岡県では過去最大となる2兆円を超える一般会計当初予算が成立しました。



飯塚市に関連する予算(抜粋・概算)

項目	金額	項目	金額
放課後児童クラブ推進費	7,600万	放課後児童クラブ運営支援および利用料減免等の事業費	
へき地医療対策費	9,500万	へき地診療所の施設設備整備に対する助成など	
70歳現役社会推進費	1,700万	高齢者就業、社会参加マッチング支援事業、セミナーなど	
飯塚研究開発センター事業費	1億5,500万	飯塚研究開発センターの管理運営に要する経費	
道路維持・建設事業費	5億900万	飯塚大野城線、八木山若宮線、北九州小竹線、大分太郎丸線 国道200号、小竹瀬田線 飯塚穂波線 ほか	
河川整備費	12億3,700万	庄内川、庄司川、熊添川、建花寺川 ほか	
道路整備事業費	4億1,300万	鯉田中線、新飯塚潤野線、新飯塚潤野線 ほか	
砂防事業費	1億5,900万	久保ノ尾川、山口地区、大城-2地区 ほか	
公営住宅建設事業費	4億8,000万	県営住宅の建設および解体など	
活力ある高収益型園芸産地育成事業	3,910万	ハイブハウス及び付帯施設、果樹棚など	
森林環境税事業	7,340万	整備区域特定調査、間伐、侵入竹伐採、作業路など	

服部知事の3つの柱

1. 次代を担う「人財」の育成
2. 世界の舞台で勝負できる福岡県
3. ワンヘルス*の推進 *人と動物の健康および環境の健全性を一体として考えようという理念

<その他政策目標>

- コロナ危機を乗り越える
- 災害からの復旧・復興・防災減災
- ポストコロナに向けた基盤づくり
- 地方分権と行政改革の推進
- 子どもを安心して産み「育てる」ことができる地域 など



6月定例会より本格的な論戦がはじまります。コロナ対策・郷土浮揚・県政発展に向けしっかり議論を行って参ります。

命を守るために、備えよう!

本県は、4年連続で豪雨災害に見舞われています。自分の命、大切な人の命を守るためには、日頃から防災意識を持ち、災害に備えることが何より重要です。

警戒レベル4までに必ず避難!

緊急時 警戒レベル4までに緊急避難

警戒レベルとは、自らの判断で避難行動できるよう、気象庁が出す防災気象情報(警戒レベル1~2)と市町村が出す避難情報(警戒レベル3~5)のことで、市町村から、警戒レベル3または4が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

新型コロナウイルス感染症に気をつけた、避難のポイント!!

災害時は、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。避難する場合は、感染症対策を踏まえた避難行動を!

Point.1 在宅避難

自宅で安全を確保できる場合は、在宅避難を検討しましょう



Point.2 分散避難

安全を確保できる親戚や知人宅、ホテルなどへの避難も検討しましょう



Point.3 身近な避難所への避難

避難所に入る前に、体調チェックを行う他、避難所では、咳エチケットなどの対策を徹底しましょう



Point.4 感染対策グッズを持参

避難する際は、マスク、消毒液、体温計などを持参しましょう



県公式LINEに防災メニューが登場!!



地域の声をお届けします!

お困りの際は、ご連絡お待ちしております!



県道穂波嘉穂線(筑前大分駅裏)



子ども達の安全を守るため、歩道の拡幅、ガードレール等の設置



県道豆田稲築線 信号機設置



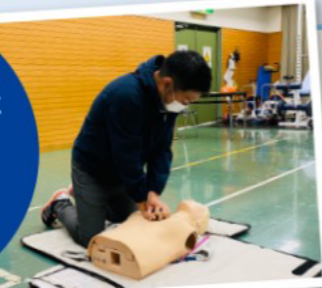
県道口の原稲築線 横断歩道設置

プロフィール

[学び] 嘉穂高等学校卒、中央大学卒、ロンドン大学 大学院卒
[仕事] 野村證券、英語講師、不動産業、飯塚市行政アドバイザー等に従事、福岡県議会議員(2019年~)

- 政治理念 / 政治こそ清潔と信頼
- 保有資格 / 宅建士、証券外務員1種、内部管理責任者、防災士

福岡県は、地域防災力の向上に貢献できる防災士を養成するため、「養成研修・試験」を開催しています。



福岡県 高橋義彦 検索! Facebook・Twitterでも随時情報をお届けしております

(免責事項)掲載している情報に関して、細心の注意を払っておりますが、情報に誤りがあった場合や、事由の如何を問わず記載される情報等によって発生した損害等は一切責任を負うものではありません。

高橋義彦事務所 〒820-0704 飯塚市阿恵 1178
TEL.0948-72-0005 FAX.0948-72-4785



児童相談所(飯塚市・桂川町は田川児相の管轄)の体制強化について質問

令和3年3月、飯塚市の県営住宅で暮らしていた家族の子供3人が飯塚市と鹿児島市で遺体で見つかるという大変衝撃的な事件が起こりました。田川市では2年前にも事件が起き、新たに本年3月に田川市で3名の兄弟が死亡するという事件も起きました。福岡県では近年虐待関連の事案が急増しており、今回の事件や、これまでの児童相談所の対応等について厳しく質問するとともに児童相談所の体制強化を訴えました。

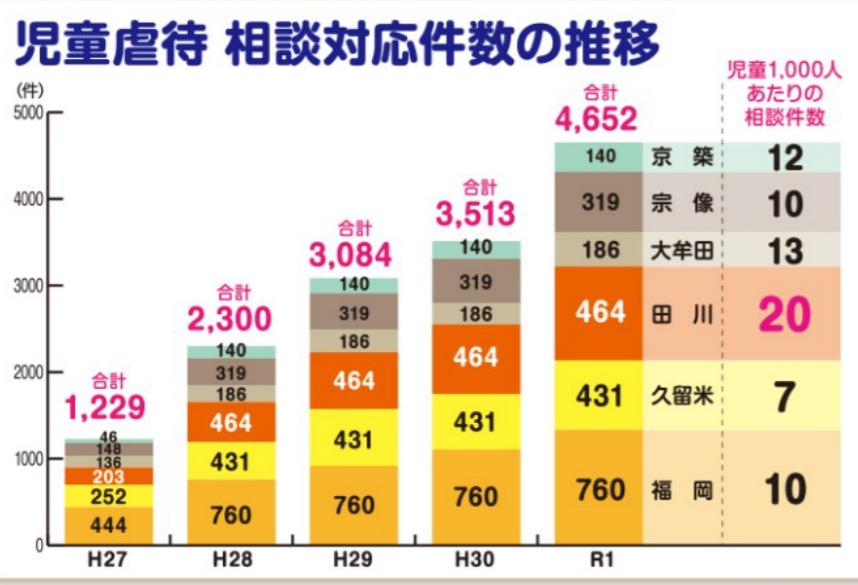


質問.1 飯塚市の事件に関し、要保護児童対策地域協議会で見守り対象とされていた家庭に対する対応は十分だったのか？飯塚市や関係団体との連絡体制など本当にうまく取れていたのか市民県民から疑念を抱かれる可能性がある。
今一度制度を見直していく必要があるのでは？

<県の回答>
今後、捜査が進捗し、事実関係が明らかになり次第、できるだけ早期に、田川児童相談所や飯塚市の対応がどうであったか福岡県社会福祉審議会児童福祉専門分科会に設置され、外部有識者で構成する「**児童虐待事例等検証部会**」において検証し、具体的な**再発防止策を検討**してまいります。

質問.2 田川児童相談所の体制強化は喫緊の課題であり、児童相談所の人員が不足しているとの指摘がある。児童虐待対応件数が増加する中、田川児童相談所の児童福祉司、児童心理司の増員を図るべきではないか。また、常勤の弁護士も新たに1名を配置を進めるべきではないか。

<県の回答>
今年度、児童福祉司を4名増員し24名に、また児童心理司を2名増員し7名とする。警察官も2名配置とし、**常勤の弁護士も新たに1名を配置**する。
今後も計画的に増員を進めてまいります。



田川児童相談所 〒826-0041 田川市弓削田188
0947-42-0499

児童相談・児童虐待 全国共通ダイヤル **189**

プラス **DV相談** つなぐはやく
0120-279-889
https://form.soudanplus.jp/mail
電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00~22:00 ※スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください



「福岡県6次化商品コンクール」

福岡県産の農産物を使い、新規性や話題性に優れた「6次化商品」を表彰する「福岡県6次化商品コンクール」で飯塚市の「糸織麺」が最高賞の知事賞を受賞致しました。筑豊で初受賞という快挙でした。飯塚産のお米を麺にして、飯塚市の歴史にちなんだ3色の麺にはそれぞれ意味が込められています。

白色麺には「お米」とゆかりが深い土地という意味を、茜色麺は「筑前茜染」、炭色麺は「石炭」をイメージし、それぞれ違う風味や食感を楽しめる商品となっています。



●お問い合わせ先
(一社)飯塚観光協会
ミュージアムショップ白蓮
浜さんちのとうふ

数字で知る、私たちの街

	人口	高齢化率	合計特殊出生率	一人当たり市町村民所得	事業所数	空き家件数(戸) / 空き家率(%)
飯塚市	126,136人	32%	1.57人	248.1(万円)	6,255	13,590戸 (20%)
桂川町	12,876人	35%	1.79人	238.4(万円)	443	5,064戸 (9.1%)
嘉麻市	35,208人	41%	1.53人	195.8(万円)	1,370	3,670戸 (19.8%)
田川市	45,946人	35%	1.72人	225.4(万円)	2,678	4,940戸 (18.1%)
全 県	5,108,038人	28%	1.52人	288.5(万円)	260,232	328,600戸 (12.7%)

人口

今後も人口は減少し、2050年には飯塚市は10万人、桂川町は1万人以下になるとの予測もあり。地域づくりの担い手の育成・確保、若者の移住・定住促進が急務です。

高齢化率 (65歳以上の割合)

県の平均値を上回っている状況です。一方で健康で元気な高齢者も多く、認知症予防事業等を促進し、今後は高齢者の就業や社会参加を支援する仕組みを作っていく事が大切です。また交通手段の整備も必要です。

合計特殊出生率

全国平均(1.36)や県の平均を上回っていますが、コロナの影響等による出生数の低下が予想されます。子育て支援策、働き方の改革などを強化し、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要です。

一人当たり市町村民所得

県平均より低い状況です。働く場の創出、付加価値の高い産業群を構築できるよう、製造業、農業、サービス産業など産業分野毎に対策を講じ、地場産業の育成、若者の起業など強力に推進していく必要があります。

事業所数

事業所が増加することにより、地域経済が活性化していきます。成長する産業の育成とともに、私たちが暮らす街には歴史ある企業も多く、そうした企業のノウハウの活用や事業承継も含めた対策が必要です。

空き家について

桂川町は平均値を下回っている一方、飯塚市の空き家率は県平均を大幅に上回っています。適切な管理が行われない状態の空き家は、防災・防犯・環境等に問題を生じさせ、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼすものもあり早急な対策の実施が必要です。

出 所 人口・高齢化率:福岡県の人口と世帯(推計)-令和2年9月1日 現在 - 出生率:福岡県保健環境研究所HP「データ項目一覧(平成30(2018)年)」市町村民所得:平成30(2018)年度県民経済・市町村民経済計算報告書(福岡県) 事業所数:令和元(2019)年経済センサス-基礎調査(総務省) 空き家件数・率:平成30年住宅・土地統計調査(総務省) 桂川町役場総務課
※1. 推計値 国立社会保険・人口問題研究所 ※2. 2019年度 厚生労働省